

お客様へ

- この取扱説明書を必ずお読みください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

安全のために必ずお守りください**警告** 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定されるもの

- 万が一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じられた場合、速やかに電源を切り、販売店、工事店にご連絡ください。また、破損したものを使用しないでください。(使用継続すると火災、感電のおそれ)
- 清掃の際は必ず電源を切ってください。(感電・破損の原因)
- 器具の改造、部品の変更、器具の塗装などは行わないでください。(火災・感電・落下のおそれ)
- 本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まないでください。(火災・感電の原因)
- 可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置かないでください。(変形・変色・火災の原因)

注意 製品の取扱いを誤った場合、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

- お客様自身で工事をしないでください。工事には電気工事士の資格が必要です。(火災・感電のおそれ)
- 加熱源となるような設備の上には設置しないでください。(加熱して火災のおそれ)
- 器具の発光部を直視しないでください。(目を痛めるおそれ)

- 安全に明るさを維持させてご利用いただくため、1年に1回の保守・点検を行ってください。
- 点検・保守の際、必ず電源を切り、器具が冷えてから行ってください。(感電ややけどのおそれ)
- 点灯中・消灯直後に本製品に触れないでください。(やけどの原因)
- 設置場所の環境(ほこり、虫の多い環境など)に応じて定期的に清掃を行ってください。

- 本製品のLEDモジュール部分は交換できません。LED照明器具(電源部含む)には、寿命があります。設置して8～10年が経過すると、外観に異常はなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をお勧めします。※使用条件：周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯(JISC8105-1解説より)
- 器具は取付場所の周囲温度が-20～40℃でご使用ください。夏季など一時的であれば45℃まで上昇する場所でも使用できますが、継続して使用しないでください。(故障、感電、火災の原因、短寿命・光束低下の原因)
- 常時高温となる環境での連続点灯や点検せずに長時間使用し続けると、まれに短寿命・発煙・発火・感電のおそれがあるので定期的な点検を実施してください。

器具のお手入れ

- 清掃する際は必ず電源を切り、器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 中性洗剤を浸した柔らかい布をよく絞ってから拭取り、そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- 酸やアルカリ系洗剤、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、薬品などを使用して清掃しないでください。また殺虫剤を使用しないでください。(破損、変色の原因)

注意：点灯中、及び消灯直後の器具を清掃しないでください。(火傷の危険)**保証について**

- この照明器具の保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の保証期間となります。
- 保証期間と保証内容についての詳細は、弊社カタログをご参照ください。

使用上のご注意

- LEDにはバツキがあるため、光色や明るさが各LED素子ごと、器具ごとに異なる場合がありますが異常ではありません。
- LED光源の交換はできません。交換の際は、器具ごと交換ください。
- 照射距離が壁面や床面に近い場合、光ムラが出る場合があります。ご了承ください。

異常時の処置 **警告** 万が一、煙が出たり、異臭がするなどの異常を感じられた場合、速やかに電源を切ってください。(火災、感電のおそれ)
煙が出なくなるのを確認して、工事店、または右記連絡先にご相談ください。

Hotalux 照明器具**高天井用LED照明器具**

品名：DRGD21HN1(JP)G/NP-PN7、DRGD28HN1(JP)G/NP-PN7、DRGD43HN1(JP)G/NP-PN7

施工業者様へ

- 施工前にこの「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく施工をしてください。
- 施工後にこの「取扱説明書」をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

安全のために守ること

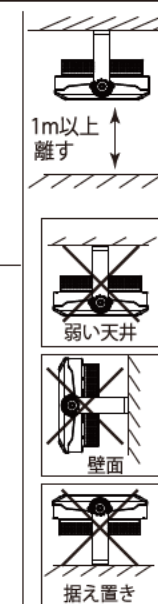
- 誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を「警告」、「注意」の表示にて区分して説明しています。

警告 製品の取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うことが想定されるもの

- 施工は有資格者により、取扱説明書に従って正しく設置してください。(落下、感電、火災の原因)
- 接地工事は電気設備技術基準(D種接地工事)に従い確実に行ってください。(感電の原因)
- 設置の際、必ず付属の落下防止ワイヤーを使用し建物の堅牢な場所と接続してください。
- 器具直下は高温になります。器具と被照射物の距離は1m以上離してください。
- 器具重量に耐える場所に設置してください。(落下、感電、火災の原因)
- 壁面や補強の無い天井、30度を超える傾斜天井、上向きに据え置いて設置はしないでください。

- 器具の分解や改造、塗装などは絶対に行わないでください。(落下、感電、火災の原因)
- 常時40℃を超える環境、湿度が常に90%RHを超える場所、強い風が吹く場所、激しい振動・衝撃が加わる場所、常時振動がある場所、油煙が発生する場所、硫黄や塩素などの腐食性ガスや可燃性ガスの発生する場所、塩害地域では使用しないでください。

- 可燃物の近くや熱源の真上に取り付けしないでください。(短寿命、落下、感電、火災の原因)
- 本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まないでください。(火災、感電の原因)
- 前面カバーに衝撃を加えないでください。(破損、落下の原因)
- 電源ケーブル等が破損した場合、そのまま使用せず器具ごと交換ください。(落下、感電、火災の原因)
- 防爆型器具ではありません。爆発の危険がある場所での使用はしないでください。(火災の原因)

**注意** 製品の取扱いを誤った場合、傷害または物的損害の発生が想定されるもの

- 必ず表示の定格電圧(定格±6%以内)、周波数でご使用ください。(故障、感電、火災の原因)
- 器具は取付場所の周囲温度が-20～40℃でご使用ください。夏季など一時的であれば45℃まで上昇する場所でも使用できますが、継続して使用しないでください。(故障、感電、火災の原因、短寿命・光束低下の原因)

- 本製品は人が容易に触れる恐れのある場所に設置しないでください。(感電、火傷の原因)
- 入力電圧200V系をご使用の場合、両切スイッチをご使用ください。入力電圧100Vで片切スイッチをご使用の場合、スイッチを電源の高圧側に設置してください。指定外で使用した場合、スイッチを切った後も器具が微発光する場合があります。
- 電源ケーブルの接続は絶縁処理と防水処理を確実に行ってください。
- 電源線、アース線の接続は確実に行ってください。

- 器具を密閉された狭い場所、掘り込まれた狭い場所、筒などで覆われた場所に設置しないでください。埋め込み断熱材施工は禁止です。(故障、感電、火災の原因)
- 器具全体や一部、前面カバーには、材質を問わず覆ったり被せたり貼り付けたりしないでください。(故障、火災の原因)
- 調光器(ライトコントロール)は使用できません。
- 電源ケーブルを引っ張るなど過度に力を加えないでください。(故障、感電、火災の原因)

**株式会社ホタルクス**

東京都港区芝1-7-17
〒105-0014 www.hotalux.com

<お客様相談室>
フリーダイヤル 0120-52-3205
受付時間 平日9:00～12:00 13:00～17:30
(土曜、日曜、祝日、年末年始および当社指定の定休日を除く)
FAX. 0748-61-2330

製品概要

品名	器具光束	配光角	色温度 (光源色)	定格電圧	周波数	入力電流			定格消費電力
						100V	200V	240V	
DRGD21HN1 (JP) G/NP-PN7	21000 lm	90°	5000K (昼白色)	AC100 -240V	50/60Hz	1.20A	0.60A	0.51A	120-115W
DRGD28HN1 (JP) G/NP-PN7	28000 lm					1.60A	0.80A	0.68A	160-153W
DRGD43HN1 (JP) G/NP-PN7	43000 lm					2.50A	1.25A	1.06A	250-240W

器具重量について

●器具重量を確認し、取付部の強度に問題がないかご確認ください。

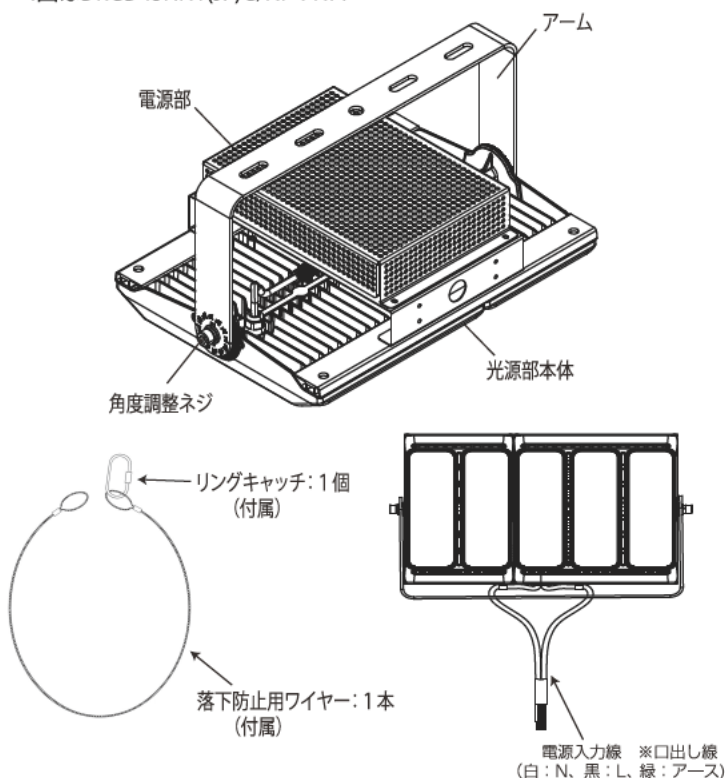
**器具重量に耐えるところに取り付けてください。
(落下の原因になります。)**

- 取付面は、平滑な面に取り付けてください。
- 取付面に凹凸がある場合、取付ボルトにナットや平ワッシャー等で取付面が水平になるように調整してください。(取付ボルトの出代は50mm以内に設置してください。)

品名	器具重量
DRGD21HN1 (JP) G/NP-PN7	5.2 Kg
DRGD28HN1 (JP) G/NP-PN7	6.2 Kg
DRGD43HN1 (JP) G/NP-PN7	9.0 Kg

各部の名称について

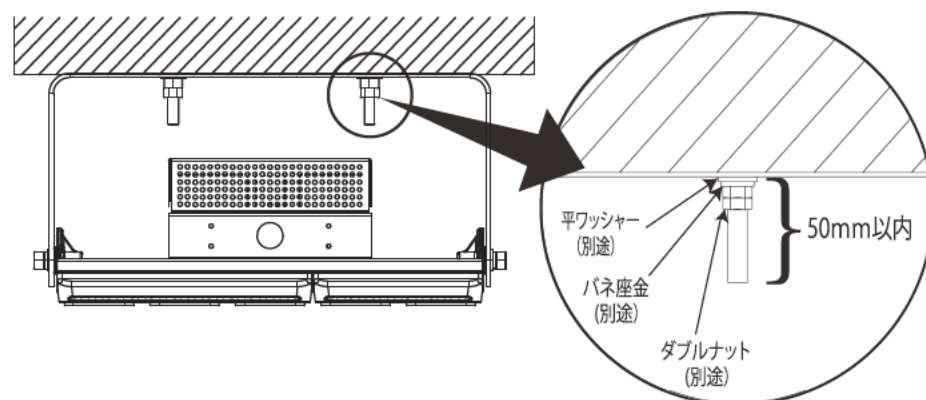
<図はDRGD43HN1(JP)G/NP-PN7>



1. 器具の取付

- 器具の取付時は、安全上2人以上で作業してください。
 - 器具の取扱は、アーム部を持って作業してください。
(電源部や器具配線部を持たないようにすること)
 - アーム部の取付穴(11×36長穴 4箇所)を使用し、M10の施工されたスタッドボルトに平座金、バネ座金、ナット(ナットはダブルナット)を用いて緩みの無いよう確実に固定してください。
締め付けトルクが不足すると器具の脱落や落下による重大な事故やけがの原因になります。
 - 付属された落下防止ワイヤーは必ず使用し荷重に耐えられる構造体に固定してください。
ネジを使用して固定する場合は、M8以上のサイズを使用してください。
- 《注意》ワイヤーの取付に不備があったり、万が一の器具落下衝撃に耐えられない箇所への施工は、器具落下による事故の原因となります。

警告 器具の取付は確実に行ってください。
取付が不完全な場合、落下の原因となります。

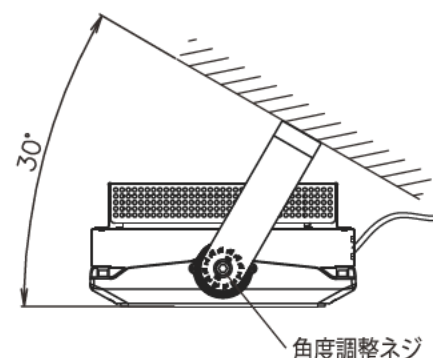
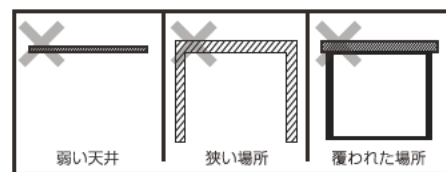


2. 器具の角度調整

- 傾斜面へ設置する場合はアーム部の角度調整ネジをゆるめ、30度以内で調整を行ってください。調整後は必ずネジを締め付け固定してください。
- 発光面が水平となるように取り付けてください。

(取付け方向)

- ・器具と照射面は1m以上距離を空けてください。
- ・下記のような方向への取付けは禁止です。
(器具落下、器具故障の原因となります。)



警告 角度調整用ネジは確実に締め付けてください。
締め付けが不完全な場合、落下の原因となります。

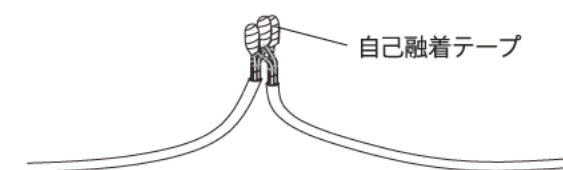
3. 電源線の接続

厳守 電源線を接続する場合、電源が入っていないことを確認してから行ってください。

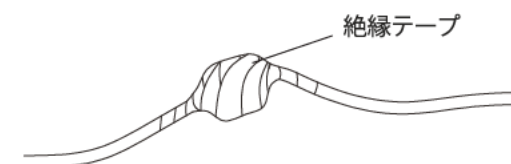
- 電源線、アース線を器具の口出し線(アース線付)に接続してください。
- 接続部は確実に絶縁・防水処理を行ってください。
- アース線の処理は必ずD種(第3種)接地工事を行ってください。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条及び第12条に従い行ってください。
(内線規定1335-7に準ずる)
- 接続作業の際に、ケーブルをつかむ・引っ張るなどの強い負荷をかけないでください。
ケーブルが抜ける等、防水機能低下の要因となります。
- 接続したケーブルは必ず保持してください。
- 口出し線の接続は、圧着端子・スリーブ等で確実に行ってください。
- 電源線は600Vキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用してください。

◇口出し線接続方法(例)

- ① 接続部はスリーブ等を使用し圧着加工を行い、結線後の接続部は自己融着テープを巻いてください。
(スリーブ、自己融着テープは別途)



- ② ケーブルのシース(外被)隙間からケーブル内部に水が浸入しないよう、接続部とケーブルへ確実に自己融着テープを巻きつけ保護してください。
その上から、絶縁テープを巻きつけ、水が結線部に浸入しないように注意してください。
(絶縁テープは別途)

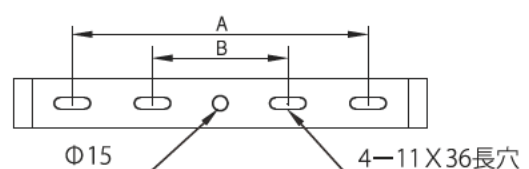


警告 接続が不完全な場合、感電・火災の原因となりますので確実に行ってください。

アーム取付部詳細

- 下記寸法に合わせて、取付ボルトを施工してください。
- 取り付けには、M10のスタッドボルトをご使用ください。

取付部寸法



品名	寸法 A [mm]	寸法 B [mm]
DRGD21HN1 (JP) G/NP-PN7	157	66
DRGD28HN1 (JP) G/NP-PN7		
DRGD43HN1 (JP) G/NP-PN7	295	135